

# 2022年SDGs未来都市採択自治体のSDGs推進

## ～Z世代を起爆剤にした 地域のリ・ブランディング～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



千葉県 松戸市 総合政策部 政策推進課 市政総合研究室  
室長 中平 治



# 自己紹介



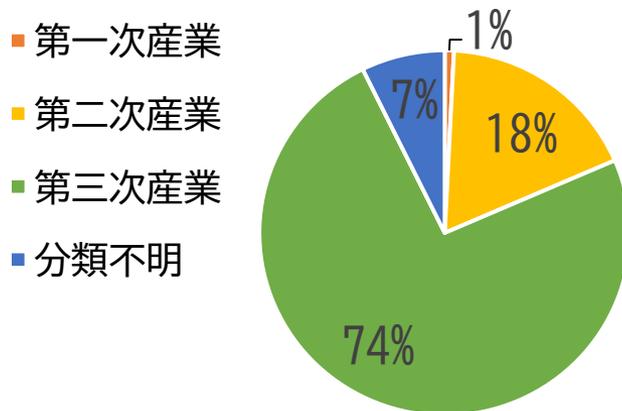
**中平 治**  
(ナカヒラ オサム)

- 大学卒業後、旅行会社などで営業職に従事。
- 2014年4月 民間企業等職務経験者採用で、松戸市に入庁。  
経済振興部 文化観光国際課に配属。  
\*主に国際業務（海外との都市間交流・インバウンド業務・多文化共生業務）に従事
- 2020年4月 総合政策部 政策推進課  
市政総合研究室に異動。（課長補佐）  
\*地方創生業務と並行して、SDGs推進に向けた庁内体制の構築や新規事業の構築に従事。
- 2022年4月 市政総合研究室長となり現在に至る。



# 松戸市の概要

- 面積 61.38km<sup>2</sup>
- 人口 497,631人（住民基本台帳人口、R4.8月末）  
⇒全国の市区町村で36番目  
一般市の中で最大
- 産業構造



- 共働き子育てしやすい街ランキング2021 総合編 第1位！（2年連続）



# これまでの取組～R2年度～



## 令和2年度⇒SDGs推進に着手

- 内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に入会
- 市ホームページにSDGsに関するページを開設
- 職員向け研修の導入(「SDGs de 地方創生」ワークショップ)
- 日本経済新聞社「全国市区 第2回SDGs先進度調査」回答

県内**2**位(対象37市、回答30市) ⇒ **上位層の注目・評価**

全国59位(対象815市区、回答691市区)





# これまでの取組 ～R3年度①～



## 令和3年度

### ⇒SDGs推進の検討を本格化

#### ●庁内推進体制の構築

令和3年8月

松戸市地方創生SDGs推進本部(部長級)

及び事務局会議(課長級)を設置





# これまでの取組 ～R3年度②～

## ●推進ステップの構築

⇒SDGsコンパスをベースに本市独自の4つのステップを構築



### \*SDGsコンパス:

GRI(グローバル・レポーティング・イニシアティブ)、UNGC(国連グローバル・コンパクト)、WBCSD(持続可能な発展のための世界経済人会議)の3団体が共同で作成した、SDGsに関する行動指針のこと

### \* SDGコンパスでは、戦略を決定・調整するためのサポートとして、以下「5ステップ」が記載されている

1. SDGsを理解する
2. 優先課題を決定する
3. 目標を設定する
4. 経営へ統合する
5. 報告とコミュニケーションを行う





# これまでの取組 ～R3年度③～



## ●職員向けSDGs研修の拡充

- ・ 「SDGs de 地方創生」ワークショップによりSDGsの理解促進を図る。
- ・ 新規採用職員～課長級まで幅広い層を対象。令和3年度中に**193人**が受講。





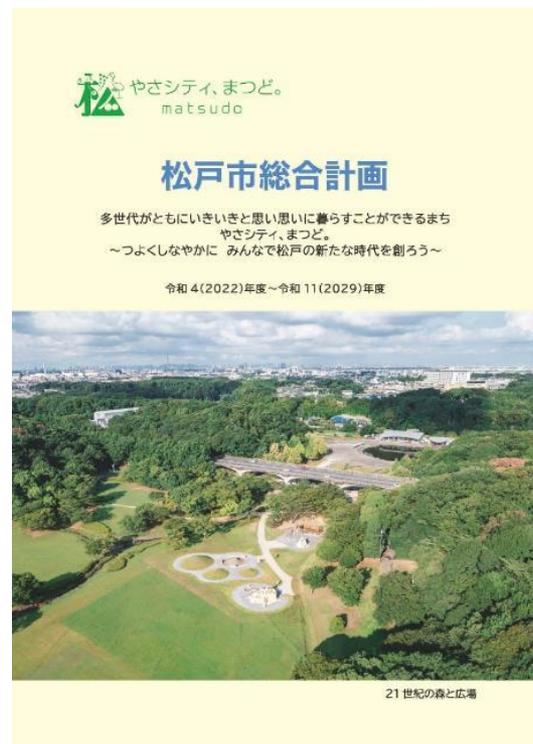
# これまでの取組 ～R3年度④～



- 総合計画(令和4年度～令和11年度)の  
政策体系とSDGsの17のゴールを紐づけ

令和3年度は、総合計画(総合戦略と一体化)  
を策定中であったことから、

「SDGs(持続可能な開発目標)を推進する  
社会」～人と環境にやさしいまちづくり～  
を6つの基本目標の1つに位置付け、さらに  
各政策体系とSDGsの17のゴールを紐づ  
けた。



やさシティ、まつど。  
matsudo



# これまでの取組 ～R3年度⑤～



## ● 民間企業との「松戸市の地方創生SDGsに関する包括連携協定」締結



(株)千葉銀行  
令和3年10月6日



(株)イトーヨーカ堂  
令和4年1月12日



損害保険会社4社※  
令和4年1月24日

※・あいおいニッセイ同和損害保険㈱  
 ・損害保険ジャパン㈱、  
 ・東京海上日動火災保険㈱、  
 ・三井住友海上火災保険㈱

## ● 市内大学・民間企業・市民団体等との意見交換・情報共有



# これまでの取組 ～R3年度⑥～



## ● ホームページに市長のメッセージを掲載

松戸市は、市民、企業、各種団体などのステークホルダーとのパートナーシップを推進し、「経済・社会・環境」の三側面の調和を保ち、現世代と将来世代がともに安全・安心に暮らせる持続可能な優しいまちを実現させる取組を進めることにより、我が国や世界のSDGs達成に貢献することを宣言します。

松戸市地方創生SDGs推進本部 本部長 本郷谷 健次

## ● 市内大学生が企画・運営するSDGsフォーラム開催

開催日：令和4年2月10日(木)

開催方法：オンライン

運営メンバー：市内4大学※を中心とした大学生 22名(うち留学生6名)

※聖徳大学、千葉大学、日本大学、流通経済大学



## ● 「ちばSDGsパートナー登録制度」への登録

## ● 内閣府「SDGs未来都市」への申請…次頁以降





# SDGs未来都市の申請までの流れ

- 全体の構成を分析。SDGs未来都市は、  
「第1章 SDGs未来都市計画(全体計画)」 と  
「第2章 自治体SDGsモデル事業(新規事業)」 にわけられる

## ●申請書作成のプロセス



### KEY POINT

- ・自治体SDGsモデル事業の新規性をどのように持たせていくか  
(バックカスティング志向)
- ・申請の評価ポイントを軸に本市で実施されている取組等は網羅されているか



# 自治体SDGsモデル事業 立案背景

## 地域特性

- ・都心への交通アクセス性の高さ  
と豊かな自然を兼ね備えた**住宅都市**
- ・一般市の中で最大の「**人口50万人**」規模
- ・**子ども・子育て支援**が重点施策のひとつ

## 課題

- ・高度経済成長期に整備された**都市基盤（大規模団地等）の更新**
- ・都心へのアクセス性の高さ等ゆえの**Z世代の市内定着性の低さ**（市内高校・大学からの市内就学・就職率：**約5%**）

## Z世代

※概ね1990年代半ばから2010年代に生まれた世代を指し、本事業では、主に高校生・大学生をメインターゲット

- ・市内4大学※の学生中心に**SDGsに興味を持ち、行動できるZ世代**がいる  
※聖徳大学、千葉大学園芸学部、日本大学松戸歯学部、流通経済大学。各々と包括協定を締結。
- ・**Z世代の人たちが地域に愛着を持つための仕組みづくり**が必要



## 常盤平団地エリア



常盤平団地のスターハウス

常盤平団地エリアの世代別構成割合  
(令和3年12月時点)

- ・常盤平団地は、URが建設した初期の**関東最大規模団地**の1つ
- ・1960年4月入居開始当時：**時代の最先端エリア**
- ・建設当時からグリーンベルト緑地帯として、**豊かな緑が残る**
- ・現在は…高い高齢化率 **約50%**（市全体約26%）  
高い外国人比率 **約10%**（市全体約4%）  
Z世代～子育て世代は**エリア内から市内外への流出**

	15歳未満	15-24歳	25-34歳	35-44歳
市内全域(A)	11.3%	9.7%	11.8%	12.9%
常盤平団地エリア(B)	7.7%	8.2%	9.2%	9.9%
市内と団地エリアの割合差	<b>-3.7%</b>	<b>-1.5%</b>	<b>-2.5%</b>	<b>-3.0%</b>

⇒**持続可能なコミュニティ形成**が必要

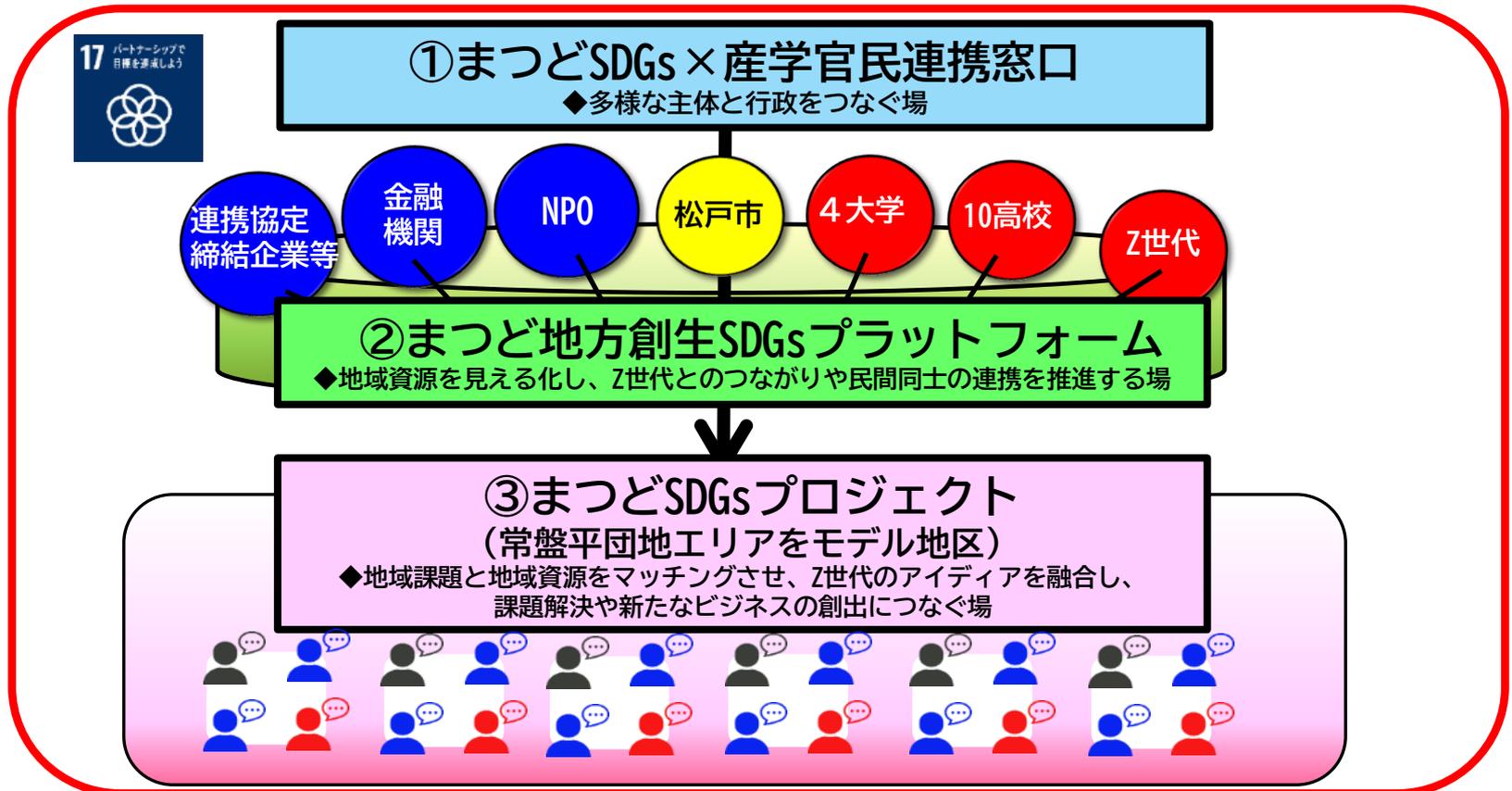
2030年  
あるべき姿

多世代が共にいきいきと思い思いに暮らすことができる やさシティまつど  
～つよくしなやかに みんなで松戸の新たな時代を創ろう～



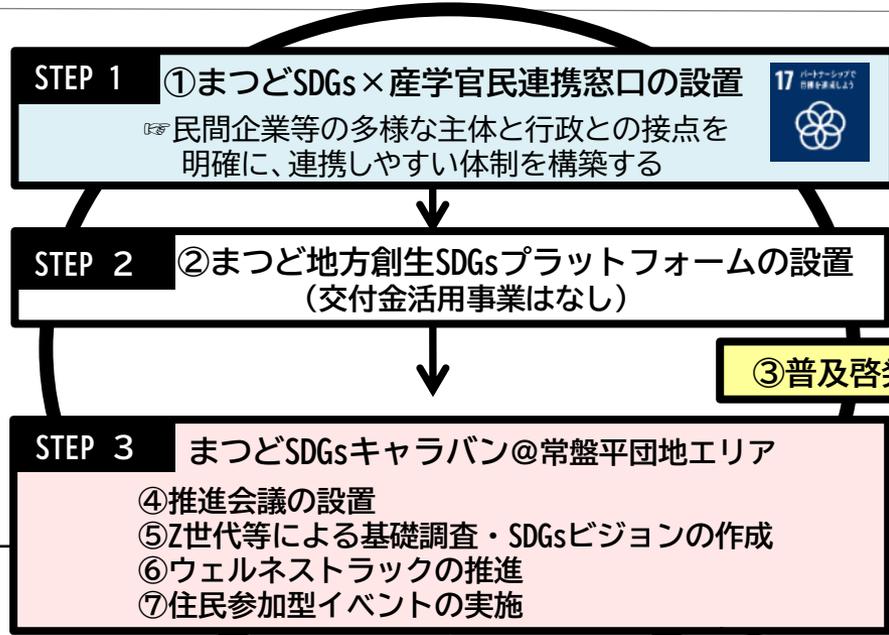
# 3側面をつなぐ統合的な取組

「①まつどSDGs×産官民連携窓口」、「②まつど地方創生SDGsプラットフォーム」、  
「③まつどSDGsプロジェクト」の3つのプロセスを組み合わせ、Z世代のアイデアと  
市内外の資源が好循環する、持続可能な地域発展モデルを構築する。





# R4年度の具体的な実施内容



当初予算で、「SDGs登録認証制度の構築に向けたアンケート実施」を計上

SDGsについて親しみを持ってもらい、様々な行動の自分ゴト化に近づける。

④ まつどSDGsキャラバン推進会議の設置  
・市、UR、常盤平団地自治会、新京成電鉄、市内4大学、Z世代

⑤ Z世代等による地域課題の基礎調査、SDGsビジョンの作成、普及啓発

Z世代の着眼点や発想力を活かし、基礎調査、SDGsビジョンの作成、SNSによる発信を推進する。

⑥ ウェルネストラックの設置

ウォーキングコース × サイン × WEBコンテンツ

常盤平団地エリアのグリーンインフラを活用し、エリアの魅力向上と住民の健康促進の研究を一体的に実施する。

⑦ 住民参加型イベントの実施

パートナーシップを通じた地域活性化として、地域課題の解決につながり住民も参加できるイベントに対する補助を実施



# 採択後の動き

●R4/5/20 内閣府における表彰式



●R4/5月下旬 SDGs未来都市計画のブラッシュアップ・事業実施内容の確定

●R4/6月上旬 内閣府へ「SDGs未来都市計画(素案)」及び

「地方創生支援補助金(素案)」の提出

●R4/7月上旬 「地方創生支援補助金」の交付申請

●R4/7月中旬 内閣府による現地視察

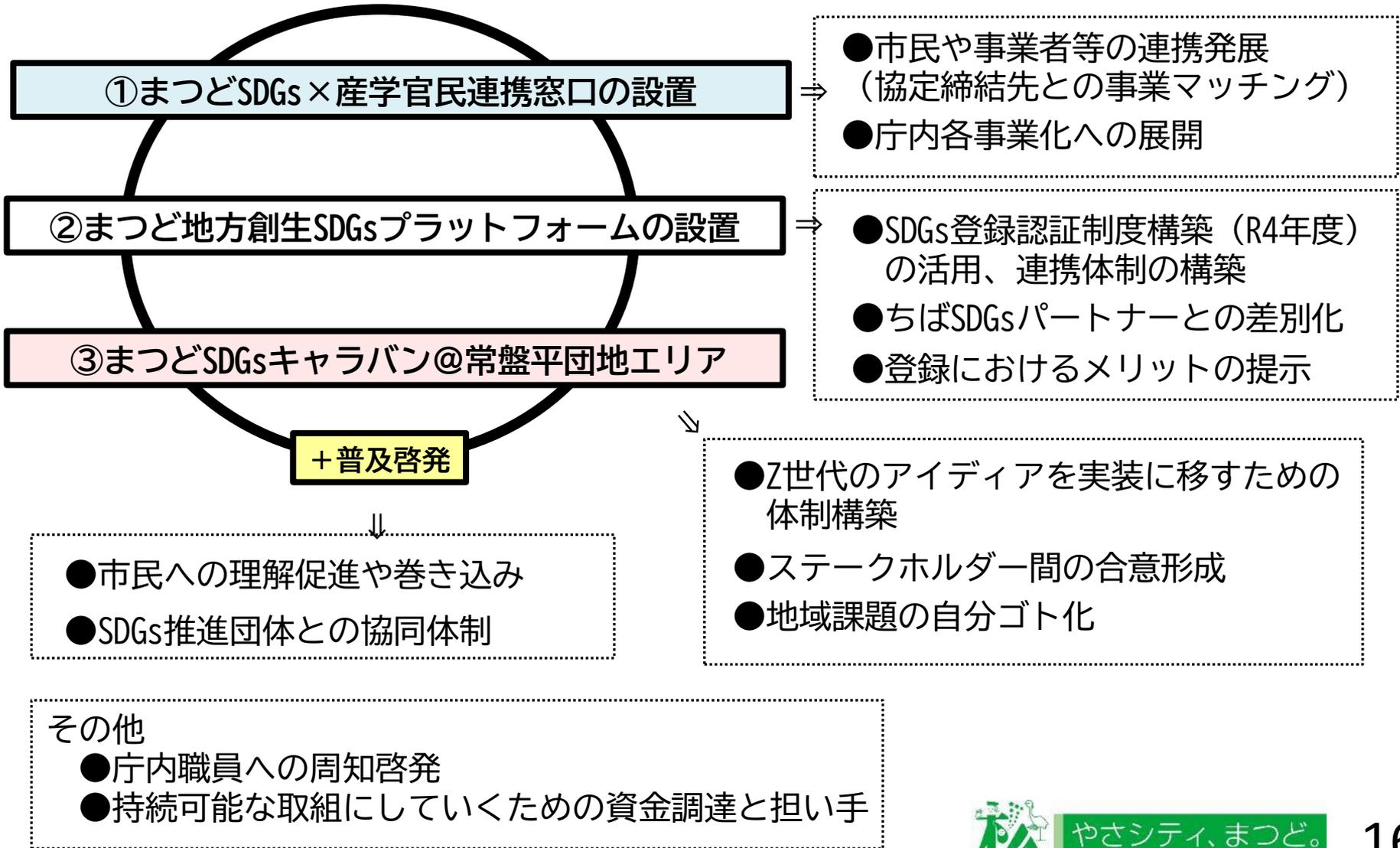
●R4/7月中旬 「地方創生支援補助金」の交付決定

●R4/7月～  
同時並行で  
・予算要求  
(補正)  
・議会説明等





# 現状の課題と今後





# お問い合わせ先

## 松戸市 総合政策部 政策推進課 市政総合研究室

- ▶ ☎ 047-704-4006
- ▶ ✉ [sdgs@city.matsudo.chiba.jp](mailto:sdgs@city.matsudo.chiba.jp)
- ▶ 住所 〒271-8588  
千葉県松戸市根本387番地5

松戸市のSDGsの取り組み

検索



松戸市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

An aerial photograph of a city, likely Tokyo, showing a dense urban landscape with numerous buildings, a prominent river, and a large stadium. The sky is blue with scattered white clouds. A semi-transparent white box is overlaid on the center of the image, containing Japanese text.

ご清聴

ありがとうございました